

2020年11月6日

マクニカネットワークス株式会社
三井住友海上火災保険株式会社

～安心・安全なIoT機器の普及を支援～

IOT機器向けリスク診断サービスに専用サイバー保険を一体で提供

マクニカネットワークス株式会社（社長：池田 遵、以下「マクニカ」）とMS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原 典之、以下「三井住友海上」）は、11月から、IoT機器向けリスク診断サービス「VDOO Vision」に専用サイバー保険を付帯して、提供を開始します。

本商品の提供を通じて、事業者が製造・販売するIoT製品のセキュリティの脆弱性をリスク診断サービスで把握・改善するとともに、万一サイバー攻撃の被害にあった場合に、保険による補償を一体で提供することにより、安心・安全なIoT機器の普及を支援します。

1. 開発の背景

デジタル化の進展に伴い、家電や自動車等、あらゆる領域においてモノとインターネットがつながるIoT機器が急速に普及しています。また、日本国内で5Gが実用化されると、さらなる普及が見込まれます。それに伴い、そうした機器の脆弱性を狙ったサイバー攻撃の増加が予想される一方、IoT機器を製造・販売する事業者の自社製品へのサイバーセキュリティ対策はまだ不十分な状況です。こうした状況を踏まえ、マクニカと三井住友海上は、事業者が製造・販売するIoT機器に対するリスク診断サービスと保険を一体提供し、セキュリティ対策をトータルでサポートすることとしました。

2. 本商品の概要

本商品は、マクニカが提供するリスク診断サービス「VDOO Vision」に、三井住友海上の専用サイバー保険が無償でセットされます。また、「事故の再発防止に要する費用」も補償することで、事故の再発防止に資する場合には事業者は費用負担の心配なく、自社製品を再診断することが可能となります。もし、何らかの懸念点が見つかった場合には、その製品を改修することができます。なお、リスク診断サービスに保険が自動的にセットされているため、新たに保険契約の手続きを行う必要はありません。

<マクニカが提供する「VDOO Vision」の特徴>

「VDOO Vision」は、豊富な解析ナレッジをもとにファームウェアバイナリを自動解析し、さまざまな視点からIoTデバイスのセキュリティ問題を視覚化します。IoTデバイスのデザイン時に必要なセキュリティ要件を短時間で見極めることができ、デバイス開発、品質保証、セキュリティサービス提供事業者のセキュリティ解析にかかる負荷を軽減します。

①わかりやすい解析レポート

IOTセキュリティの脅威に対する既知の脆弱性だけでなく、公開脆弱性情報や各種セキュリティ基準とのギャップを分析し、重要度に応じたリスクレベルを表示します。特に対策が必要な点については個別の対策方法をガイドします。

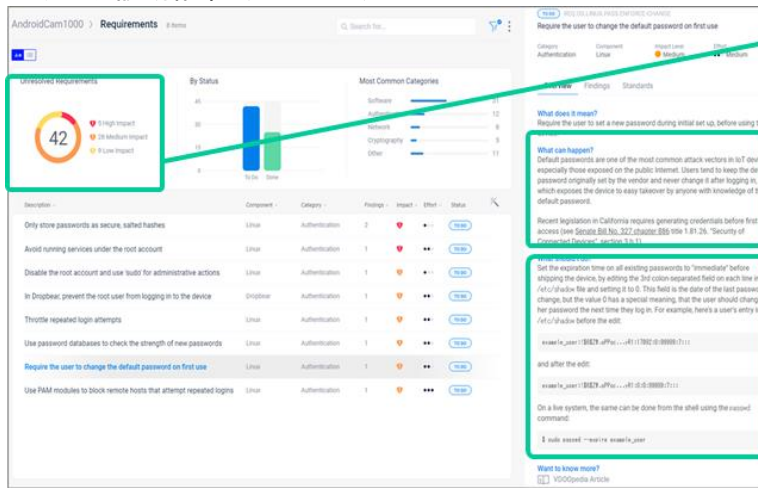
②自動解析ツールによるスピーディなファームウェア解析

ファームウェアをクラウドにアップロードすることで、セキュリティに関する専門的な知識がなくてもスピーディに解析することができます。製品ごとの解析だけでなく、製品開発工程ごとの解析検査が可能です。

③未知の脆弱性（ゼロデイ攻撃）への対応

解析以降に発見された重要な問題や攻撃は、メールにより即座に通知するサービスの提供も可能です（オプション）。また、対策も防御も難しい場合には、診断した結果をベースにデバイスを保護するエージェントも提供します。

<リスク診断結果（レポート）のサンプル>



対象製品のリスクレベル

リスクの詳細な解説

リスク低減に向けた改修事項
についてのアドバイス

<三井住友海上が提供する専用サイバー保険の特徴>

専用サイバー保険では、情報漏えい等による損害賠償費用に加え、その原因調査費用やサーバー復旧費用等、サイバー攻撃による損害を幅広く補償します。

その他にも、万一「VD00 Vision」のリスク診断を受けたIoT機器が、販売後にサイバー攻撃の被害にあい、事業者が賠償責任を負った場合に、改めて「VD00 Vision」のリスク診断を受ける費用等、再発防止に要する費用を補償します。

■補償内容

支払限度額	1商品あたり：賠償損害500万円、費用損害500万円
補償期間	診断を受けてから1年間
補償対象となる損害	<p>(賠償損害) マクニカのリスク診断を受けたIoT製品の製造販売に関連して被保険者が被る法律上の賠償責任</p> <p>(費用損害) 事故原因・被害範囲調査費用、事故対応費用、再発防止費用 等</p>

(ご参考)

【マクニカネットワークス株式会社】

マクニカネットワークスは、数多くの海外企業と提携し、豊富な経験や研究により培ってきたインテリジェンスをもとに、最適な最先端テクノロジーを提供する技術商社です。ラインナップはセキュリティやネットワークインフラ、AI、DXなど多岐にわたり、製品の導入から運用・サポートに至るまでの万全なサービスにより、官公庁や教育機関・一般企業など数多くのお客さまへの導入実績を誇ります。

会社名	マクニカネットワークス株式会社
資本金	3億円（2020年3月31日現在） ※株式会社マクニカ100%出資子会社
本社所在地	〒222-8562 横浜市港北区新横浜1-5-5
代表者	池田 遵
ウェブサイト	https://www.macnica.net/
事業内容	企業向けネットワーク、セキュリティ関連ハードウェア・ソフトウェアの輸出入開発、販売コンサルティング・保守サービスにわたるITソリューションの提供。

【三井住友海上火災保険株式会社】

三井住友海上は、2030年までに「レジリエントで持続可能な社会」を実現するため、SDGsを道しるべとして、社会との共通価値の創造に取り組んでいます。その重点課題の一つとして「新しいリスクに対処する」ため、サイバー攻撃による被害を防ぐ、各種リスクマネジメントサービスによるセキュリティ対策のほか、万一のときの損害に備えた補償を提供しています。

以上